



# あいかわ 議会だより

第 167 号

令和2年11月15日発行

責任者 議長 馬場 司  
年 4 回発行・本号18ページ



「小中学生がんばれ！応援事業」として小中学生に3,000円のクオカードを配布しました。

**副町長の選任及び補正予算「コロナ対策支援事業第2弾」可決 P2**

**令和元年度各会計決算を認定 P9**

**陳情 1 件を採択 国へ意見書 2 件を提出 P9**

※町議会では議会だよりに使用する写真を募集しています。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。



QRコード

愛川町議会のHPも  
是非ご覧ください。

**〈第3回7月臨時会・第3回9月定例会〉**

○発行/愛川町議会 編集/広報広聴常任委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 ☎046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

議会メールアドレス [gikai@town.aikawa.kanagawa.jp](mailto:gikai@town.aikawa.kanagawa.jp) 町HPアドレス <http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/>

令和2年11月15日（2）

2020

G I K A I

令和2年第3回「7月臨時会」が7月22日に開催され、副町長の選任及び新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の緊急支援に係る補正予算の町長提出議案について審議を行い、全議案が可決されました。

また、令和2年第3回「9月定例会」が、9月1日から9月24日まで、会期24日間（本会議開催6日間）にわたり開催され、令和元年度各会計の決算をはじめ、教育委員会委員の任命、条例、補正予算など、15件の町長提出議案及び2件の議員提出議案について審議し、全議案を可決するとともに、2件の陳情を審議しました。

## 7月臨時会

## 人事議案

## 補正予算

## ◎副町長の選任

（賛成全員）

不在となっていた副町長に角田在住の沼田力氏を選任することについて同意したものです。



沼田 力 副町長

## ◎令和2年度愛川町一般会計補正予算（第4号）

（賛成全員）

国が示す「新しい生活様式」に沿って新型コロナウイルス対策と地域経済の活性化を図っていく必要があることから、対策支援事業の第2弾として、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億1,270万8千円を追加し、一般会計の総額は170億3,629万9千円とするものです。



愛川聖苑に設置した空気清浄機

主な内容として、総務費では、新しい生活様式の啓発や感染症に関する情報などをお知らせするための電光掲示板を役場庁舎前に設置するものです。

また衛生費では、医療現場等において新型コロナウイルスとの混乱が生じないように、冬季のインフルエンザ流行を抑えるため、新たに中学生から64歳までの方を対象に、インフルエンザ予防接種費用を一人あたり2,000円助成するものです。さらに、災害発生時の避難所におけるソーシャルディスタンスの確保やプライバシーの保護を図るため、防災用マルチテントなどの防災備品を拡充するものです。

商工費では、休業・時間短縮営業要請など事業に大きな影響があった飲

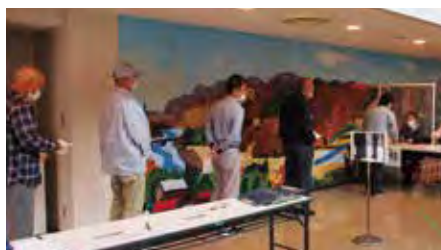
## 令和2年 第3回7月臨時会日程

| 月 | 日  | 曜 | 会議名   | 主な内容                             |
|---|----|---|-------|----------------------------------|
| 7 | 22 | 水 | 本 会 議 | 副町長の選任<br>町長提出議案の説明、<br>質疑、討論、採決 |

## 令和2年 第3回9月定例会日程

| 月 | 日  | 曜 | 会議名            | 主な内容                                                  |
|---|----|---|----------------|-------------------------------------------------------|
| 9 | 1  | 火 | 本 会 議          | 陳情2件の所管常任委員会への付託<br>教育委員会委員の任命<br>町長提出議案の説明           |
|   | 3  | 木 | 本 会 議          | 一般質問（6人）                                              |
|   | 4  | 金 | 本 会 議          | 一般質問（7人）                                              |
|   | 9  | 水 | 本 会 議          | 補正予算議案の総括質疑・討論・採決                                     |
|   | 11 | 金 | 本 会 議          | 条例議案及び令和元年度決算議案の会派代表総括質疑<br>委員会分割付託の決定                |
|   | 15 | 火 | 総務建設計<br>常任委員会 | 付託案件の審査                                               |
|   | 16 | 水 | 教育民生<br>常任委員会  | 付託案件の審査                                               |
|   | 17 | 木 | 総務建設計<br>常任委員会 | 付託案件の審査                                               |
|   | 18 | 金 | 教育民生<br>常任委員会  | 付託案件の審査                                               |
| 9 | 24 | 木 | 本 会 議          | 付託案件審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決<br>町長提出議案及び議員提出議案の説明・質疑・討論・採決 |

食店や小売店等を応援するため、町内店舗で使える「あいかわ景気盛りアップゲ券」を全町民に配布して地域経済の活性化を図るものです。



町内21箇所で「あいかわ景気盛りアップゲ券」の引換えを行いました（文化会館での様子）

3,000円のクオカードを配布するものです。また、小中学校の感染防止対策として、校舎内の水道蛇口のハンドルを回転式から接触の少ないレバー式へ交換するものです。



小中学校の水道の蛇口を回転式から接触の少ないレバー式へ変更しました



# 9月定例会

## 人事議案

### ◎教育委員会委員の任命

(賛成全員)

任期満了に伴い、引き続き次の方を任命することについて同意したものです。

半原在住

大貫 洋氏

## 条例議案

### ◎愛川町税条例の一部を改正する条例の制定

(賛成全員)

「地方税法」の一部改正に伴い、新型コロナウイルス感染症経済対策として、軽自動車税環境性能割の税率を臨時的に軽減する措置が6か月延長されたことから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日 公布の日】

## 専決処分の承認

### ◎令和2年度愛川町一般会計補正予算(第5号)

(賛成全員)

令和2年7月末に法人町民税の確定申告書等の提出のあった法人のうち19社において、昨年度の中間申告における予定納税額が今回の確定税額を上回ったため、還付となる償還金について、専決処分を承認したものです。

## 補正予算

### ◎令和2年度愛川町一般会計補正予算(第6号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,524万4千円を追加し、一般会計の総額を171億6,489万4千円としたものです。

主な内容としては、旧半原出張所の解体に伴う

## 事件議案

### ◎町道路線の廃止及び認定について(賛成全員)

道路法の規定により、路線の終点が変更となる路線の廃止と新たに町道として管理する必要がある



ドライブレコーダーは、防犯カメラとして効果が期待されます。

### ◎令和2年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

### ◎令和2年度愛川町公共下水道事業会計補正予算(第1号)

(以上、賛成全員)

## 個人総括質疑

じた路線について認定をするものです。

今回は半原地内の1路線の廃止を行い、新たに角田・半原地内の3路線を認定しました。

### ◎工事請負契約の締結について(令和2年度原白橋補修工事)(賛成全員)

・請負契約金額

6,100万6,000円

・請負契約の相手方

鈴木土建株式会社

工期は契約の締結日から令和3年3月31日まで

ドライブレコーダー

設置推進事業費増額

・増額の理由について

汚水整備事業工事費増額

・増額の詳細について

外国人受入環境整備交付金

・交付金の詳細について

財政調整基金積立金増額

・増額の理由について

過誤納保険税還付金増額

・増額の理由について

国民健康保険税減額

・減額の詳細について

町道路線の認定について

・事業計画の経緯について

ほか3項目



1970年に完成した原白橋(半原地内)防護柵の塗装をはじめ、床版や橋台のコンクリート部材の断面修復などを行います

・増額の理由について

有害鳥獣対策事業費増額

・増額の理由について

庁舎等維持管理経費増額

・増額の理由について

補正予算議案・事件議案

に対し、岸上敦子議員、

茅孝之議員、鈴木信一議

員が質疑を行いました。

内容の一部を紹介します。

令和2年11月15日（4）

# 会派代表総括質疑

5日目の9月11日は、条例及び令和元年度決算議案に対し、会派代表総括質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

## あいかわの聲

（渡辺 基議員）

**問** 令和元年度地方債  
現在高の評価につ  
いて

町長 公債費負担比率、公債費比率、実質公債費比率のいずれの数値を見ても適正な数値に収まっていることや、人口1人当たりの地方債現在高は、県内市町村において少ないほうから4番目となっていることから、適切に地方債の活用が図られていると考えています。今後とも地方債の借入れについては、適債事業を積極的に活用していく一方で、過度に公債費が拡大することのないよう、バランスをよく見ながら活用していきたいと考えています。

**問** 令和元年度起債の  
評価について

町長 住民が安全・安心に暮らすための生活基盤や防災基盤整備の財源と

して、計画的な活用を図っています。具体的には、道路整備や橋梁維持補修事業の財源として2億3,240万円、防災行政無線デジタル化整備事業の財源として1億3,010万円を借り入れたほか、消防団車両購入事業の財源として2,000万円、春日台児童館耐震補強事業の財源として660万円、総額で3億8,910万円の借入れを行いました。

地方債の活用に当たっては、各種の事業の中から適債事業を見極め、とりわけ道路整備事業については、29路線の道路整備に関わる財源として1件80万円からの借入れを行うなど、細かく適債事業を拾い上げており、世代間の公平性を念頭に積極的な地方債の活用を通じて、地域経済対策はもとより、都市基盤整備や住民の安全・安心の推進に役立てたものと考えています。



春日台児童館耐震補強工事現地調査の様子

## 公明党

（佐藤 りえ議員）

**問** 町税の収入未済額  
が前年度よりも  
減額した理由について

町長 令和元年度町税の収入未済額は2億5,538万1,886円となり、前年度と比較すると3,140万4,426円の減額となりました。

減額した主な理由としては、現年課税分の滞納整理では滞納原因や生活状況等の把握のために、早めの電話催告や滞納者宅への訪問、催告書の送付を行い、滞納繰越分とならないように早期解決に努めたものです。

また、滞納繰越分では、プロジェクトチームを中心とした催告書の送付や電話催告等による継続的な折衝に加え、納税意識の低い滞納者に対しては、引き続き徹底した財産調査を行い、預金や給与、生命保険などの債権の差押えに努めたほか、滞納の抑止や自主的納税を促

**問** 決算額の内、物件  
費が前年度よりも  
増加した理由について

町長 増加した主な理由としては、美化プラント運転維持管理委託事業において、従来の契約を更新する際に、ごみ収集作業員が行っていた業務の一部を移管したことにより、1,500万円余りの増額となったものです。

このほか選挙執行経費では、町議会議員選挙で1,100万円余り、参議院議員通常選挙では1,000万円余りの増額となったものです。

日本共産党愛川町議員 団の会派代表総括質疑は、質疑者の当日の体調不良により取り下げとなりました。



# 常任委員会での審査

令和元年度事業の決算審議をより詳細に行うため、各常任委員会で8月に現地調査及び事務事業評価を、また、9月15日から18日までは、各事業に対する質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

## 総務建設常任委員会

8月7日に、避難所運営のための資機材、鮎の里の塔塗装修繕、八菅山いこいの森トイレ改修工事など、7箇所を現地調査し、事業評価を実施しました。また、9月15日及び17日は各事業に対する質疑を実施しました。

**現地調査**  
一ツ井・箕輪上原108号線（歩道改修）工事

良好かつ適正に執行している。

### 【委員の意見】

点字ブロックの設置が必要な場所においては、視覚障がい者の安全かつ快適な移動の支援ができるよう配慮すること。



現地調査の様子

## 交通施策推進事業費

質疑9月15日

**問** 町内循環バス再編運行検討支援業務委託料にかかる事業の成果について

**答** アンケート調査票を合計で195票回収し、現在運行している3コースの利用属性や利用目的などのほか、循環バスに対する満足度では概ね7割の方が肯定的に捉えていることが把握できています。また、立ち寄ってほしい施設として、複合商業施設のコピオ愛川や医療施設等を希望する回答が多く寄せられ、利便性向上や利用促進の観点から、希望に沿った立ち寄りポイントを増設するために効果があつたものと認識しています。

質疑9月17日

**問** 林道維持管理の成果と課題について

### 林業振興事業費

**答** 維持管理の成果は、除草による林道内の見通しをはじめ、落ち葉や枝等の堆積が改善されたほか、法面の樹木伐採による林道内の明るさの向上など、林道通行者への安全確保が図られたものと考えています。

一方、近年、台風やゲリラ豪雨といった気象災害により、林道の破損が確認されていることから、林道全体を点検して改修箇所を把握する取り組みも必要と考えています。

## 教育民生常任委員会

8月18日に、福祉センター1階事務室エアコン交換工事、愛川東中学校外トイレ改修工事など、8箇所を現地調査し、事業評価を実施しました。また、9月16日及び18日は各事業に対する質疑を実施しました。

現地調査

菅原小学校屋内運動場  
（どんまう）  
絨帳交換工事

良好かつ適正に執行している。

### 【委員の意見】

学校側の意向に沿うものであり評価する。今後は、他校についても、紫外線などに強い素材を使用し、早めの交換を検討すること。



現地調査の様子

質疑9月16日

**問** 児童福祉一般管理費  
新型コロナウイルス感染拡大防止用備品購入費の詳細について

質疑9月18日

**放課後学習  
あすなろ教室事業費**

**問** 本事業の成果について

**答** 令和元年度末に実施したアンケートでは、参加者から「計算力があつた」、「算数ができるようになった」、「よく漢字練習をするようになった」等、自分の成長を実感する声が多数寄せられていることから、本事業の目的である学力向上と学習習慣の定着に一定の成果があつたものと考えています。

# 討 論

各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。一部を紹介します。

※議会における「討論」とは提出された議案に対して「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことです。

## 賛成 あいかわの聲 熊坂 崇徳 議員

全議案に賛成です。

歳入については、本町の法人町民税を支える内陸工業団地が、コロナ禍前の世界経済景気好調の影響で、安定的な税収があり、自主財源比率も70%を超え、黒字決算となったことは評価します。一方、借入金が増小していることから、財政的には健全であるものの、適正事業を探し、起債による財源の確保に努めるよう要望します。

歳出については、款別歳出決算額での民生費が全体の37.5%を占め、昨年より2.1%も上昇し、少子高齢化の中で、民生費は今後も増加していくものと予想します。高齢者の健康維持に努め、高齢者の方々が住みやすいまちづくりと、若い世代が子育てしやすいまちづくりを目指してください。また、民生費の保育士

確保支援事業費では、全国的に不足している保育士の人材確保を図るため、町内の認定こども園や小規模保育施設などの民間保育施設に、保育士として就職した方へ、助成金を支給する事業です。この新規事業は効果が期待できるものとして評価します。しかし、令和元年度、保育士転入奨励助成金の申請件数が、0件だったことから、町広報や民間保育施設と一緒に事業展開の周知をお願いします。

妊婦健康診査事業では、妊娠中に受ける健康診査費用の一部助成をするもので、妊娠の届出をされた妊婦に母子健康手帳とともに妊婦健康診査補助券14回分を交付しています。妊婦の健康維持に努めていることを評価します。

次に、教育費の給食一般管理経費において、オリンピック・パラリンピック給食補助金は3か国

にゆかりある料理を提供することにより、子どもたちが世界に興味を持つきっかけとなったことを評価します。

各種スポーツ事業開催事業費の町一周駅伝競走大会開催経費では、歴史ある駅伝競走大会の開催と、ゲストランナーを招いての開催は評価します。しかし、神奈川県下出場報償金を支払っている自治体は本町のみです。報償金の廃止と併せ、大会のタイム集計の短縮を図るため、計測チップを用いた集計方法を検討するよう要望します。



第65回愛川町一周駅伝競走大会の様子

## 賛成 日本共産党愛川町議員団 小林 敬子 議員

議案第40号「令和元年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について」賛成です。

広報管理経費の令和元年度のドローン操縦講習会では、消防課職員2名が参加したことにより、防災活動にも活用が広がりました。今後も、保有している2台がPR動画だけではなく、公共施設の維持管理、点検など、幅広い分野で有効に活用されることを期待します。

防災関連事業費では、広域避難所訓練の参加者が減少傾向にあります。この防災訓練は3年サイクルで実施しているため、避難所運営委員会の主要メンバーである区長も変わるが多く、毎回初めての状況となります。地域の防災能力を高めるためには、訓練の経験を蓄積していくことが重要



地域防災訓練での様子

地域生活道路整備事業費では、行政区からの要望などによる生活道路の舗装や側溝整備において、令和元年度の実績は47件に対し34件を採択したことから、その採択率は72.34%となり、評価します。採択に当たっては見た目だけで判断せず、十分な調査により、できるだけ数多くの件数が採択されるよう要望します。

次に、議案第41号、「令和元年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決



# 議会だより

第167号

(7) 国民健康保険制度については、税率改正を行い、県への分担金を支払うための財源確保に尽力されました。しかし、被保険者数のさらなる減少や新型コロナウイルスの影響により、年度の後半においては保険税収入の落ち込みが著しく、保険税決算額について前年度決算額はもとより、令和2年度予算額にも達しない状況でした。

この間、コロナ禍において多くの住民が日々の生活に苦しんでいる中、国の緊急的な保険税減免制度の施行にいち早く取り組み、丁寧に周知を図ったことで多くの加入者がこの制度の適用を受け、救われました。町長の姿勢をはじめ、担当課においてしっかりと努力されたことを評価します。

次に、議案第45号「令和元年度愛川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について」賛成です。

賛成 公明党  
岸上 敦子 議員

全議案に賛成です。

決算の経常収支比率を

見ますと、前年度に比べ17ポイント上昇し、92%

となりました。今後も引き続き町税などの経常一

般財源の確保等、なお一

算の認定について「賛成

算の認定について」賛成

大規模な災害に備えて、

三栗山配水池の耐震補強

工事の実施、また戸倉浄

水場浸水対策設計事務委

託を行い、戸倉浄水場及

び戸倉第4水源の浸水対

策の設計業務は災害に強

い水道施設の強化を図る

ものであり評価します。

さらに、IT機器を活用

した事務処理の迅速化と、

経営の合理化、省力化を

図り、コンビニエンスス

トアでの水道料金の取り

扱いによる水道利用者へ

の納付の利便性や、水道

料金未納者に対する早期

収納に努めたことも評価

します。

層の努力をお願いします。また、本年度末の町債現在高は一般会計と特別会計、企業会計を合わせて157億1,833万円余りで、前年度に比べ5億9,457万円余り、率にして3.6%減少しており、厳しい経済状況が続く中で評価します。

高齢者福祉事業では、ひとり暮らし高齢者等見守りサポート事業、見守り電話サービスについては、日本郵便と連携しな

がら試行的に実施し、対象地域を町内全域に拡大しました。また、徘徊高齢者等の早期発見と早期の保護を図るため、新たに高齢者等の衣服や持ち物に貼ることができるQRコードを活用した見守りシステムを導入したことを評価します。一人でも多くの方が、徘徊されている方に気づき、対処できるように周知徹底を望みます。



徘徊高齢者等見守り支援にQRコードを活用しています

常備消防管理事業では、音声による119番通報が困難な聴覚・言語障がいの方が円滑に通報できるNet119緊急通報システムの導入、また外国籍住民等からの119番通報時など、多言語コールセンターを介した三者間同時通訳が17言語、24時間365日対応可能となるサービスを導入したことを評価します。引き続き、緊急現場などにおいての迅速な対応を望みます。

かわせみ広場事業では、放課後児童クラブの待機児童の解消を図るため、試行的に、中津小学校かわせみ広場が実施され、児童の放課後の居場所の確保に資することができたことを評価します。今後、地域とともに児童生徒が元気で学校生活を送り、特色ある学校づくりが進められる環境整備の強化を望みます。

## 第16回議会クイズの

答えと当選者

前号の議会クイズは10名の方から応募をいただきました。ありがとうございました。

正解と当選者は次のとおりです。

### 〔正解〕

問1・①5月8日

問2・③10%

問3・②8月21日

### 〔当選者〕

大矢 定司 様

福田 喜久江 様

榎本 和美 様

以上3名

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。

TEL 046・

285・2111

(内線3792)

## 令和2年 第3回（7月）臨時会 議決一覧表

## ●全会一致の議案

| 議案番号         | 案 件                   | 議決結果 |
|--------------|-----------------------|------|
| 町長提出<br>第36号 | 副町長の選任について            | 同 意  |
| 町長提出<br>第37号 | 令和2年度愛川町一般会計補正予算（第4号） | 可 決  |

## 令和2年 第3回（9月）定例会 議決一覧表

## ●全会一致の議案

| 議案番号          | 案 件                                                                                | 議決結果 |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 町長提出<br>第38号  | 教育委員会委員の任命について                                                                     | 同 意  |
| 町長提出<br>第39号  | 愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について                                                            | 可 決  |
| 町長提出<br>第40号  | 令和元年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について                                                          | 認 定  |
| 町長提出<br>第41号  | 令和元年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について                                                    | 認 定  |
| 町長提出<br>第43号  | 令和元年度愛川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について                                                      | 認 定  |
| 町長提出<br>第44号  | 令和元年度愛川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について                                                     | 認 定  |
| 町長提出<br>第45号  | 令和元年度愛川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について                                                    | 認 定  |
| 町長提出<br>第46号  | 専決処分の承認について（令和2年度愛川町一般会計補正予算（第5号））                                                 | 承 認  |
| 町長提出<br>第47号  | 令和2年度愛川町一般会計補正予算（第6号）                                                              | 可 決  |
| 町長提出<br>第48号  | 令和2年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）                                                        | 可 決  |
| 町長提出<br>第49号  | 令和2年度愛川町公共下水道事業会計補正予算（第1号）                                                         | 可 決  |
| 町長提出<br>第50号  | 町道路線の廃止について                                                                        | 可 決  |
| 町長提出<br>第51号  | 町道路線の認定について                                                                        | 可 決  |
| 町長提出<br>第52号  | 工事請負契約の締結について（令和2年度原白橋補修工事）                                                        | 可 決  |
| 陳 第 3 情 号     | 「別居・離婚後の面会交流についての法整備を求める意見書」の提出を求める陳情書                                             | 不採択  |
| 議員提出<br>第 2 号 | 義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する意見書の提出について | 可 決  |
| 議員提出<br>第 3 号 | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について                              | 可 決  |

## ●意見が分かれた議案

○・・・賛成、●・・・反対（趣旨了承）

| 議案番号         | 議員名<br>議案等の件名                                                               | あいかわの聲      |                |                  |                       |                  |             |                  |             | 公明党              |                  |                  | 日本共産党<br>愛川町議員団  |                  |                  | 無所属                   |             | 議決結果 |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------|----------------|------------------|-----------------------|------------------|-------------|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|-------------|------|
|              |                                                                             | 渡<br>辺<br>基 | 馬<br>場<br>司    | 山<br>中<br>正<br>樹 | 木<br>下<br>眞<br>樹<br>子 | 熊<br>坂<br>崇<br>徳 | 玉<br>利<br>優 | 阿<br>部<br>隆<br>之 | 茅<br>孝<br>之 | 佐<br>藤<br>り<br>え | 井<br>出<br>一<br>己 | 岸<br>上<br>敦<br>子 | 井<br>上<br>博<br>明 | 小<br>林<br>敬<br>子 | 鈴<br>木<br>信<br>一 | 小<br>島<br>総<br>一<br>郎 | 佐<br>藤<br>茂 |      |
| 町長提出<br>第42号 | 令和元年度愛川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について                                            | ○           | ※議長は採決に加わりません。 | ○                | ○                     | ○                | ○           | ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ●                | ●                | ●                | ○                     | ○           | 認 定  |
| 陳第2情号        | 義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する陳情書 | ○           |                | ○                | ○                     | ○                | ○           | ○                | ○           | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                     | ●<br>趣旨了承   | 採 択  |

※陳情第2号は委員長報告（採択）に対する賛否です



# 令和元年度決算を認定

## 令和元年度 各会計決算額

| 会 計 名   |         | 歳 入           | 歳 出           |
|---------|---------|---------------|---------------|
| 一 般 会 計 |         | 129億1,674万8千円 | 125億1,657万6千円 |
| 特別会計    | 国民健康保険  | 50億9,386万4千円  | 50億9,043万8千円  |
|         | 後期高齢者医療 | 4億7,758万6千円   | 4億5,805万3千円   |
|         | 介護保険    | 30億2,704万2千円  | 29億9,168万6千円  |
|         | 下水道事業   | 12億1,251万2千円  | 12億498万2千円    |
| 企業会計    | 水道事業    | 7億132万9千円     | 8億6,462万5千円   |
| 合 計     |         | 234億2,908万1千円 | 231億2,636万円   |

◎ 一般会計歳入歳出決算の認定  
◎ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定  
◎ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定  
◎ 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定  
◎ 下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定  
◎ 水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定  
(以上、賛成全員)



決算の詳細については、スマートフォンからでもご覧になれますので、左のQRコードをご利用ください。  
(※広報あいかわのページに移動します)

| 件名                                                                          | 陳情者                                          | 付託先           | 審査結果 |
|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------------|------|
| 義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する陳情書 | 相模原市中央区富士見6丁目6番13号<br>湘北教職員組合<br>執行委員長 山口 智子 | 教育民生<br>常任委員会 | 採択   |
| 「別居・離婚後の面会交流についての法整備を求める意見書」の提出を求める陳情書                                      | 神奈川県厚木市中荻野557番地1<br>高橋 喜寿                    | 教育民生<br>常任委員会 | 不採択  |

### 陳情のゆくえ

※意見書の内容は、一部の要領事項のみ記載しています。すべての内容を確認する場合は、下記のQRコードを活用ください。

義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する意見書

教育の機会均等、水準の維持・向上、無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること。また、学校事務職員・学校栄養職員をその対象から外さないこと。さらに、義務教育教科書無償制度を継続すること。ほか

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。ほか

◎ 義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する意見書の提出

◎ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出  
(以上、賛成全員)

### 国へ2件の意見書を提出



# 一般質問



紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧になれます。  
なお、9月定例会の会議録は、12月中旬に閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にあるQRコードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でも、ご覧になれます。

## 茅 孝之 議員 P.10

・本町の歴史ある農産物を次世代へ継承していくための支援策について ほか

## 阿部 隆之 議員 P.11

・関係人口創出事業について

## 渡辺 基 議員 P.12

・教育行政について ほか

## 井出 一己 議員 P.13

・コロナ禍における避難所運営のあり方について ほか

## 玉利 優 議員 P.14

・共に生きる社会について ほか

## 佐藤 茂 議員 P.15

・コロナ禍における町の商工業・観光施策について

## 熊坂 崇徳 議員 P.16

・コロナ禍における社会福祉について ほか

## 岸上 敦子 議員 P.11

・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策などの強化について ほか

## 小島 総一郎 議員 P.12

・町総合計画について

## 小林 敬子 議員 P.13

・少人数学級とICT教育について ほか

## 鈴木 信一 議員 P.14

・新型コロナウイルス感染症拡大防止策について

## 佐藤 りえ 議員 P.15

・「新しい生活様式」に向けた取り組みについて ほか

## 木下 眞樹子 議員 P.16

・愛川聖苑の今後の在り方について

町長 半原ワサビ栽培の継承などについては、多くの課題があり、これらの諸問題が解決し、一つの事業体として見通せるようになった時には、町として、出来るところは側面から支援していくことが必要と考えています。

**問** 本町の歴史ある半原ワサビなどの農産物を次世代へ継承していくために、後継者を支援し、シテールに繋げていく必要があると思いますが、町の考えを伺います。

半原ワサビなど農産物を次世代へ



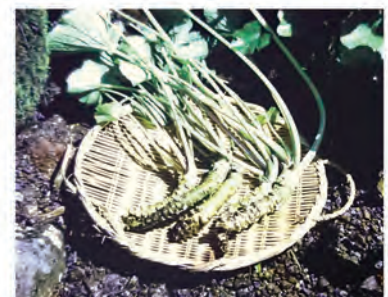
茅 孝之 議員

**3校は既に導入済 感謝の手紙実施検討**  
教育長 伝統技術継承のため、現在、半原、田代、高峰小の3校については、愛川織維会館において紙すき体験をし、和紙を使

**問** 江戸時代から始まった角田海底地域の和紙文化継承のため、町内全小学校における卒業証書への和紙の使用と、親等への感謝の気持ちを和紙の手紙で届けるなど、児童の心の教育についての考え方を伺います。

用した卒業証書を作製しています。しかし、中津地区を含む全6校での実施については、学校からの距離や受入態勢の問題など、各校の立地場所や児童数等の課題があり、現時点での導入は難しいと考えています。  
感謝の気持ちを伝える手紙を書くことは大変意義のあるものと認識していますが、さらなる活動時間の確保など、解決すべき課題があることから、引き続き様々な学校教育の機会を捉え、感謝の気持ちを養う心の教育に努めていきます。

## 海底和紙で卒業証書作製



実際の半原ワサビの写真



実際の海底和紙の卒業証書



# (11) 議会だより 第167号

町長 町内公共施設では、手指消毒の徹底や飛沫感染防止のためのパーテーションの設置、また、施設利用者の入場制限など、継続的な感染防止対策を実施するとともに、県の取り組み及びその趣旨に協力する中で、感染防止対策取組書の導入を推進しています。

## 継続的な対策実施 取組書の導入推進

**問** 県が打ち出した「感染防止対策取組書」に対する県との連携内容について伺います。

## 感染防止対策へ 連携内容の強化



岸上 敦子 議員



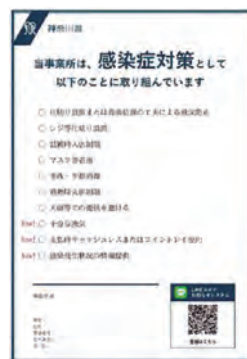
指導室長 子どもや保護者が相談できる様々な機関があることや、電話以外にもLINE等を活用した相談窓口が開設されていることを、子どもや

## 周知は大事と認識 啓発カードの対応

**問** 児童・生徒などへのSNSを活用した相談窓口に対する町の考えについて伺います。

## SNSを活用した相談窓口

保護者に対して広く周知していくことは大事なことでありと認識しています。「かながわ子ども家庭110番相談LINE」については、今年7月に神奈川県福祉子どもみらい局子ども家庭課長から、小学校1・2年生への普及啓発カードの配布依頼を受け、対応しました。今後とも相談機関からの依頼に応じて周知に努めていきたいと考えています。



感染防止対策取組書の  
周知徹底をお願いします

町長 国は第2期総合戦略を策定し、関係人口の創出を取り組みの柱の1つとしています。本町も、昨年度に第2期総合戦略を策定し、関係人口を広げ、持続可能な地域を創造することを基本姿勢として掲げています。

## 第2期総合戦略の柱 持続可能な地域創造

**問** 今後、町と何らかの関係人口の創出は、未来につながる重要課題です。そこで、関係人口創出の拡大につなげるための施策について伺います。

## 関係人口の創出 未来に繋げる課題



阿部 隆之 議員



## 大学や教育機関との連携

**問** 関係人口創出のため、大学や教育機関との今後の連携について伺います。

いています。

町長 神奈川工科大学から、相互の資産やネットワークを活かし、魅力ある地域づくりや研究・教育の推進につなげるための包括連携協定を締結したいとの申し出をいただ

## 神奈川工科大学 早期協定締結図る

今後は、できるだけ早い時期に協定書を取り交わしていきたいと考えています。



魅力ある地域づくりにつなげるため、  
神奈川工科大学と包括連携協定書を締結

## 次期総合計画策定 町の基本的な考え



小島 総一郎 議員



**問** 現行の第5次総合計画が令和4年度で終了することから、本年度より次期総合計画の策定作業が始まりました。策定に向けた考えを伺います。

### 町政運営の基本 夢兼ね備えた計画

町長 総合計画は、町の将来の目指すべき姿や、その実現を図るために取り組むべき施策を定めた総合的で計画的な町政運営の基本となるものです。策定にあたっては、新たにSDGs(※)なども踏まえた中で、実効性と将来への夢を兼ね備えた計画づくりに取り組んでいきたいと考えています。

※SDGs(Sustainable Development Goals)  
持続可能な開発目標

## 平山下平線の取組み状況

**問** 現行の総合計画の中で「住み続けることのできる交通環境の確保」の計画事業である「平山下平線整備事業」の取り組み状況について伺います。

**4工区に分けて整備  
第2工区以降未着手**  
町長等 平山大橋から角田大橋までの全長1,380メートルを4つの区間に分けて整備を進めています。

現在、第1工区の平山大橋から採石場までの延長約300メートルの区間について、道路整備に向けた詳細設計や、用地を取得するための測量調査が完了し、順次用地取得を進めています。  
第2工区以降については、詳細設計や用地測量に未だ着手していないことから、全体の総事業費については、現時点では明確となっていない状況です。



平山大橋付近から見る  
平山下平線の整備予定地

## 中学校給食 教室までの動線



渡辺 基 議員



**問** 中学校給食における配膳室から教室までの生徒の動線について伺います。

### 階段等を一方通行 運搬の安全を確保

教育長 配膳室から各教室までの間で、生徒による混雑が起きないように、階段や廊下を一方通行とします。また、配膳室の混雑状況に応じて、給食用コンテナを廊下やホールなどの広い場所に移動することや、教職員が声掛けや見回りを行うことなどにより、食缶等運搬時における生徒の安全な動線を確保したいと考えています。



生徒たちが給食を運搬する様子

## 昨年の台風19号 課題への進捗状況

**問** 昨年の台風19号の反省として、88項目の課題が整理されました。現在の進捗状況について伺います。

### 再度内容の整理 47項目対応済み

危機管理室長 課題への対応にあたり、類似する案件等もあったことから、関連事項として一括した対応が適切であると考え、再度、内容の確認、整理

を行い、88項目あった課題を66項目に整理しました。このうち、避難所の案内看板作成や避難所従事者バッグの整備のほか、段差解消のためのポータブルスロープの購入など、47項目については、対応済みとなっています。ベット同伴避難に関する対応や停電時の照明確保など残り19項目については、現在、継続して対応しています。



# 議会だより

(13) 第167号

**会計年度任用職員  
期末手当支給率増**

町長 期末手当や通勤手当に加え、新たに業務内容に応じて特殊勤務手当などの支給、このほか期末手当が常勤職員と同じ支給率となったため、年間収入は増額となります。

**問** 臨時・非常勤職員の任用の適正化、処遇の改善を目的として令和2年4月から会計年度任用職員制度が始まりましたが、給与や期末手当などについて、どう変化したのか伺います。

## 臨時非常勤職員 給与や期末手当



小林 敬子 議員



iPadを使って社会の授業を  
受ける児童たち(高峰小学校)

**問** 現在のパソコンの活用状況とタブレット導入による今後の財政的負担について伺います。

様々な教科において活用しています。  
今後の財政的負担としては、パソコン等のリース料が月額147万円、また、本年度実施する端末の整備費のうち、国庫補助対象外の端末機器リース料が月額216万円、あわせて月額約363万円の支出を見込んでいます。

## 小中学校 タブレット端末の活用状況

## 児童等の理解促進 毎月の維持費支出

教育長 パソコンは、インターネットによる調べ学習や、児童・生徒の理解促進と関心、意欲を高めるための手段として、

## バス路線の増設 実証運行の状況



井出 一己 議員



## 問

桜台小沢線エリアから鉄道駅までのバス路線の実証運行とその進捗状況のほか、自家所有旅客運送など新たな地域の移動手段について、町の考えを伺います。

## 各種機関と協議中 新輸送は次期改正時

町長 神奈川中央交通や神奈川県警と実証運行に係る協議を進めており、新型コロナウイルスの状況を見て、開始時期を調整していきます。また、新たな移動手段は、町総合交通計画の次期改正で整合性を図り、時代に合ったものにしていきたいと考えています。

## 問

過密状態を防止するため、多くの避難所開設や感染症リスクを下げる必要があることから、分散避難の重要性と、自分の行動計画「マイタイムライン」作成の取り組みについて、町の考えを伺います。

「分散避難」の実施は、感染症拡大防止の観点からも大変有効であることから、風水害・避難所マップを広報あいかわに掲載するとともに、避難行動判定フローのチラシを配布して、周知を図っています。

## 避難所増設と訓練 分散の周知を徹底

町長等 3密を防ぐため、指定避難所以外にも各行政区の児童館や公民館などを活用し、避難所の開設訓練などを通じて避

## コロナ禍での避難所運営

また、マイタイムラインの作成は、災害による被害軽減の有効な手段でありますので、引き続き機会を捉えて周知啓発に努めていきます。



循環バスを活用した  
公共交通の充実に期待

## 体温検知カメラ 庁舎導入の考え



鈴木 信一 議員

**問** 公民館や体育館などでは体温のチェックや利用者名簿の記録等、追跡調査ができるよう徹底されています。しかし、本庁舎ではそれが難しいことから、感染拡大防止対策として体温検知カメラを導入する考えについて伺います。

## 発熱原因特定不明 提言と受け止める

町長 測定対象者のプライバシーへの配慮や発熱の原因を区別することができないなど様々な課題がありますので、提言として受け止めます。

## 職員へのPCR検査実施

**問** 世田谷方式と言われる、5人分まとめて検査することで検査数を大幅に増やすことができ、費用も節約できる検査が注目されています。不特定多数の来庁者に対応する職員に対しPCR検査を実施する考えについて伺います。

## 検査体制が不十分 感染予防策に取組

町長 保険適用となるPCR検査は、希望するすべての方が受けられるわけではなく、医師が必要と判断した方に限り実施できることになっています。現状では任意で検査できる体制が整っておらず、職員を対象とした検査は難しいことから、新しい生活様式を実践するよう引き続き全職員に周知徹底を図り、感染予防に取り組んでいきます。



## 共生社会の実現 把握・対応課題



玉利 優 議員

**問** 共生社会の実現を望み、同時にその難しさもありますが、本町が把握している精神障がい者への対応の課題について伺います。

## 心の健康講座など 普及啓発事業実施

町長 精神障がい者やその家族への差別や偏見などが共生社会の実現の課題と捉えています。

本町では障害福祉フォーラムやこころの健康講座などの普及啓発事業に意を注いできました。誰もが違いを認め合い、多様な生き方ができる社会づくりのため、全力で取り組んでいきたいと考えています。

## 数学の役割・現状と課題

**問** 中学校における授業の責任は重いとありますが、授業科目の一つである数学について、その役割と年間の授業計画、現状と課題について伺います。

## 思考・表現力育む 学力向上に努める

教育長 数学には、問題を解決するために必要な思考力・表現力等を育むとともに、数学的に考える能力等を育成する役割があります。



共生社会の実現を目指して  
『共に生きる』金澤 翔子さん 書  
(本庁舎1階ロビー)

年間授業計画については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う臨時休校により再編が必要となったことから、柔軟に見直すこととしました。

授業の現状は、教員が改善に取り組み、生徒の学力向上に努めておりますが、新しい生活様式での授業形態によりグループ学習などの主体的な学習が制限されていることが課題と捉えています。



# 議会議だり

(15) 第167号

町長 サテライトオフィスの誘致や自然環境を活かしたワーケーション（※）の推進など、本町の強みを活かせる取り組みについて、実現の可能性や実効性も踏まえた中で、研究を進めていきます。

※ワーケーション：自然豊かな土地などで休暇をとりながらテレワークをする働き方

## ワーケーション等実効性踏まえ研究

**問** 「新しい生活様式」を築くため、地方移住の支援や企業誘致をさらに促進し、誰もが住み続けられる町づくりを実現すべきだと思いが、町の考えを伺います。

## 新しい生活様式 地方移住を促進



佐藤 りえ 議員

**問** 長期間の休校措置を伴った場合、GIGAスクール構想に伴う家庭での端末使用について伺います。

## 長期休校時の端末使用



## 学校での使用想定ルール作り等研究

教育長 ネットワーク利用の注意点など十分な時間をかけて児童・生徒に意識付けを行う必要があることから、まずは情報通信ネットワークの基盤

が整備されている学校での使用を想定しています。しかし、この度の長期間の休校措置を契機にICTを活用した学習機会の充実の必要性が増していることから、今後家庭での端末使用について、学校外への持ち出しや使用する際のルール作り、家庭からの通信手段とその他のための費用も併せて、研究していきます。

**問** 新型コロナウイルスをきつかけに、この先のイベントの統廃合についての考えを伺います。

**答** 妥当性などを勘案効果的な展開検討環境経済部長 新型コロナウイルスの収束が未だ見通せず不特定多数が訪れるイベントは中止せざるを得ない状況です。ウイズコロナ時代に即した観光イベントの在り方について事業の妥当性や有効性、効率性等を勘案し、効果的な事業展開が図られるよう検討していきます。

## イベント統廃合 この先の考えは



佐藤 茂 議員

## 自然を活かした観光施策

**問** コロナ禍の中、ハイキング等の自然を活かした観光施策を進める考えについて伺います。

## 八菅の歴史等巡る新たなコース整備

商工観光課長 密集を避けて安全に観光を楽しみたいという意識が高まり、自然との触れ合いを求める観光事業が増加傾向を見せています。町では、本年度八菅地域の自然や



八菅地域の自然や歴史を巡る新たなハイキングコースの整備を行います

歴史を巡る新たなハイキングコースの整備のほか、行政提案型協働事業を活用し仏果山や高取山の整備、マップの作成を行うなど、ハイカーの利便性や安全性の向上に努めているところとです。今後も新型コロナウイルスの状況を踏まえながら、豊かな自然を活用した観光施策の推進に努めていきます。

## 愛川聖苑の 利用状況は



木下 眞樹子 議員

**問** 少子高齢化や核家族化が進み、通夜や告別式を行わず火葬のみで利用する方が増えているようですが、近年の愛川聖苑の利用状況について伺います。

### 火葬のみが増加 3密を避け工夫

**町長** 近年は、通夜や告別式を行わずに火葬のみで利用する方が増加傾向にあり、式場の利用件数は、減少しています。

また、3密を避けるため、式場のレイアウト変更や、通夜、告別式の時間帯を親族と一般で分けて執り行う利用者が増えています。

## 小規模式場を整備する考え

**問** 家族葬を行う小規模の式場を整備する考えについて伺います。

### 少人数利用に配慮 現施設を有効活用

**町長** 近年の葬儀では、家族や近親者が家族葬など少人数で式場を利用するケースが多くなっています。その場合には、施主の希望を伺い宗派や祭壇など利用者の意向に沿った形式により、安心して式場を利用できるよ

う可能な限り配慮に努めています。

今後、町では家族構成や新型コロナウイルスの影響に伴う利用の形態など、様々な角度からその推移を注視していきますが、新たな小規模の式場を整備するためには、設置場所の選定、既存施設との整合性など、運用面や建築面で課題があることから、利用者の意向に配慮しながら現行施設を有効活用していききたいと考えています。



利用者の意向に配慮し愛川聖苑を有効活用していきます

## 愛川ブランド 期待すること



熊坂 崇徳 議員

**問** 今年4月に第2期愛川ブランドの募集を行い22品目が認定されましたが、これらの商品に期待することについて伺います。

### 知名度アップなど 地域経済の活性化

**町長** SNSや動画による情報発信とふるさと納税の返礼品として贈呈するなど、町内外への積極的なPRを行うとともに、認定事業者への支援を行うことで、さらなる本町の知名度アップと観光振興・地域経済の活性化につながるように期待しています。

## コロナ禍の高齢者支援

**問** 新型コロナ拡大防止のため、外出自粛による高齢者の健康状態の悪化や孤立が問題になっていますが、高齢者世帯への支援について伺います。

### いきいき百歳体操 簡易版動画を公開

**町長** 外出自粛に伴う高齢者の健康状態の悪化や高齢者フレイル(※)が進行しないよう、ホーム

ページに、自宅で手軽にできる「いきいき百歳体操」の簡易版動画を公開するとともに、健康維持と免疫力を低下させない取り組みの促進や、フレイル予防のポイントをまとめたチラシを配布しています。また、民生委員や、地域包括支援センター、在宅支援センター等による見守り訪問など、機会をとらえて見守りと安否確認を行っています。

※ 高齢者フレイル:加齢により筋力が衰え、疲れやすくなること



第2期 愛川ブランドの22品目



## 大磯町

■視察日 8月27日(木)

■来町者

大磯町議会

高橋 英俊 議長

ほか 6名

■視察内容

愛川町議会議員の政治

倫理規程について

## 逗子市

■視察日 10月21日(水)

■来町者

逗子市議会

加藤 秀子 議員

ほか 3名

桐ヶ谷 寛 市長

村松 隆 教育部長

■視察内容

温かい中学校給食

(親子方式)について



挨拶をされる大磯町

高橋議長



愛川中学校で温かい

給食を試食

調理された給食は各中学校  
へ配送されます小学校の給食室で中学校分も  
調理されます

これまでの中学校給食は、選択式のデリバリー給食でしたが、保護者から「温かい給食」の要望が寄せられていました。町ではこれを受けて、小学校の給食室で中学校分もまとめて調理する『親子方式』を導入し、その結果、生徒たち全員が温かい給食を食べられるようになりました。

## 令和2年 第4回12月定例会日程(予定)

| 月  | 日  | 曜 | 会議名             |
|----|----|---|-----------------|
| 11 | 30 | 月 | 本会議(提出議案の説明)    |
| 12 | 2  | 水 | 本会議(一般質問)       |
|    | 3  | 木 | 本会議(一般質問)       |
|    | 7  | 月 | 総務建設常任委員会       |
|    | 8  | 火 | 教育民生常任委員会       |
|    | 11 | 金 | 本会議(総括質疑、討論、採決) |

次回定例会  
のお知らせ

次回、12月定例会は左記日程表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、

11月20日(金)に開催する予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。



©愛川町

## お知らせ

## 議会中継

町民参加を基本とする開かれた議会を実現するため、インターネットによる議会本会議のライブ中継、録画の中継を行っていますので、是非ご覧ください。視聴にあたっては、「愛川町議会ホームページ」内の「愛川町議会インターネット中継」の項目をクリックして進んでください。スマートフォンやタブレット端末でもご覧になれます。

愛川町議会

検索



議会改革推進特別委員会



町議会では、開かれた議会を実現するため、令和元年12月に本特別委員会を設置し、「タブレット端末の導入」や「議員定数及び議員報酬等の見直し」などについて検討を行っていきます。

8月24日には2社のクラウド機能を確認するため、リモートによるタブレット操作研修会を開催しました。

※タブレット操作研修会の様子



| 会議開催日 | 議会改革推進の協議内容等                                                                |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 6月30日 | ①タブレット端末の導入について<br>②議員定数及び議員報酬等の見直しについて<br>③事業評価の推進と検証方法について                |
| 7月27日 | ①タブレット端末の導入について<br>②議員定数及び議員報酬等の見直しについて<br>③愛川町議会先例及び確認事項について               |
| 8月24日 | ①愛川町議会先例及び確認事項について<br>※②タブレット操作研修会<br>県内の導入実績が多い2社を比較するため、タブレットの操作研修会を開催した。 |
| 9月29日 | ①タブレット端末の導入について<br>②議員定数及び議員報酬等の見直しについて<br>③愛川町議会先例及び確認事項について               |

事務事業評価結果報告

8月7日及び18日に、総務建設常任委員会及び教育民生常任委員会所管事務について、令和元年度事業の現地調査等を実施し、事務事業評価を行いました。その結果について、9月24日に小野澤町長へ報告書を提出しました。



上記のQRコードにより報告書の全文がご覧になります。

(左から小野澤町長、馬場議長、井上副議長、佐藤りえ総務建設常任委員会委員長、玉利副委員長、熊坂教育民生常任委員会委員長、岸上副委員長)



## 第17回 議会クイズ

**問1** 7月22日に開催された臨時会で、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援事業の補正予算が可決されました。第何弾だったのでしょうか？

①第2弾 ②第3弾 ③第4弾

**問2** 国へ提出した意見書は何件でしょうか？

①1件 ②2件 ③3件

**問3** 9月定例会の一般質問に登壇した議員は何人でしょうか？

①12人 ②13人 ③14人

※第16回クイズの答えと当選者はP.7に記載してあります。

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想(紙面の見やすさについてなど)をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 11月30日(月) (郵送の場合は当日消印有効) ☆正解と当選者は次号で発表します。

《あて先》 ●はがきの場合

〒243-0392

角田251-1 議会事務局

●ファックスの場合

046-286-5021

●電子メールの場合

gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

●オンラインでの場合

今号から右記のQRコードを活用して、応募ができるようになりました。



## 編集後記

まだまだ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス。今回の議会だよりは、新型コロナウイルス感染症対策支援事業第2弾を中心とした7月臨時会と、令和元年度決算の審議を行った9月定例会について書かれています。

前号から時系列ではなく、議案の審議の流れを、より分かりやすく構成しております。一般質問に注目してしまいがちですが、初日の各議案に関する提案の説明から採決に至るまでの審議の流れについても、理解を深めながら読み進めて頂ければ幸いです。

### 広報広聴常任委員会

委員長 阿部 隆之

副委員長 小林 敬子

委員 岸上 敦子

委員 茅 孝之

委員 鈴木 信一

委員 佐藤 優

委員 熊坂 崇徳

委員 木下 眞樹

委員 山中 正樹